

# 一般財団法人和歌山環境保全公社

## 平成26年度 事業報告

### 1 事業概要

本公社は、一般財団法人として、県民の良好な生活環境の確保及び地域環境の保全に寄与することを目的として、廃棄物等の安全かつ適切な処理及び環境保全のための啓発等に関する事業を行っています。

平成26年度は、一般財団法人への移行後の第二年度として、より適切な業務運営に努めるとともに、和歌山県知事から認可を受けた公益目的支出計画において実施事業としたすさみ建設残土処分場運営管理事業、循環型社会形成のための啓発推進事業及び2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催を契機とした環境保全啓発事業を実施し、並びにその特定寄附として「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金（きいちゃん募金）」への寄附を行いました。また、その他事業として大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業を実施しました。

### 2 個別事業の概要

#### (1) すさみ建設残土処分場運営管理事業

公共事業から発生する発生土（建設残土）を適正に処分するため、和歌山県が設置した公的建設発生土受入施設（西牟婁郡すさみ町大鎌669番地）を有償で利用し、県との必要な協議、県への適宜の報告等を行いながら、受入依頼のある建設残土について受入れ、検量、処分等を行っています。

平成26年度のすさみ建設残土処分場における建設残土の処分量は、17,746トンです。過去2カ年続いた紀南地域の災害復旧工事等の影響が一段落し、処分量は対前年度比23.4%となり、年間の受入量が大幅に減少しました。

なお、平成26年度末現在では全体受入予定量（558,060m<sup>3</sup>）の約75%（417,301m<sup>3</sup>）を受け入れたところです。

＜受入量の推移（平成10年度～平成26年度）＞

年 度	受入量（t）	年 度	受入量（t）
平成10年度	54,397	平成19年度	12,030
平成11年度	130,942	平成20年度	20,093
平成12年度	54,030	平成21年度	17,584
平成13年度	82,282	平成22年度	27,253
平成14年度	66,713	平成23年度	26,596
平成15年度	39,442	平成24年度	43,975
平成16年度	29,955	平成25年度	75,857
平成17年度	20,815	平成26年度	17,746
平成18年度	31,431		

（平成26年度一日当たりの受入量：72t）

## (2) 循環型社会形成のための啓発推進事業

公益目的支出計画に定めた「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的に関する事業」の核として、産業廃棄物の適正処理を推進するとともに、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に関する啓発に取り組み、循環型社会の形成に資することを目的とする事業を行っています。

平成26年度の産業廃棄物適正処理推進のための講習会については、9月に（一財）日本環境衛生センター等より講師を招き、「コストダウン・企業価値の向上につながる廃棄物処理について」等をテーマに講習会を開催し、132名の受講者がありました。

また、和歌山県との共同事業として、紀北地域を中心にラッピングバス（車外啓発広報を窓下3面に掲載した路線バス）を走らせ、不法投棄防止キャンペーンを実施しました。

## (3) 2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催を契機とした環境保全啓発事業

平成27年秋に行われる両大会の関連イベントを通して3R運動を推進するため、それらの行事に併せて啓発活動を展開しています。

### ア クリーンアップ運動（作戦）における環境保全啓発

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会が県内一斉クリーンアップデー（8月23日）や県内クリーンアップ運動統一実施期間（8月1日～9月30日）を定めて県内各地の清掃活動と共催で実施した清掃活動への参加者に配付する国体・大会ロゴ入りタオル及び帽子を製作し、県内各地の実施日に合わせて各実施団体等に提供しました。

また、同委員会が参加して行われた国体・大会の開・閉会式場である紀三井寺公園陸上競技場周辺での平成27年3月29日のクリーンアップ活動へも啓発用のぼりや大会ロゴ入りタオル、帽子等を提供しました。

### イ マスメディアを活用した環境保全啓発

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会のクリーンアップ運動に合わせてその推進を呼びかける15秒CMを制作し、夏の高校野球大会中継の期間中においてテレビ和歌山で放送しました。

秋には、同委員会等と協力しながら、国体開催関連環境保全啓発テレビスポット30秒CMを2本制作し、平成26年11月から平成27年3月までテレビ和歌山で放送しました。

## (4) 「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金（きいちゃん募金）」への寄附

公益目的支出計画に基づく特定寄附として、両大会における花いっぱい運動やクリーンアップ運動などの県民運動やボランティア活動などを支える運営経費に活用されるよう、和歌山県に対して2千万円の寄附を行いました。

(5) 大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業

大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地（和歌山市湊2675-26（新日鐵住金（株）和歌山製鐵所内））の後背圏から運搬される廃棄物等の受入れを行い、積込施設を使用し、海上輸送船に積み込むまでの業務を受託しています。

委託者の大阪湾広域臨海環境整備センターは、大阪湾圏域の広域処理対象区域から発生する廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図ること等を目的として、広域臨海環境整備センター法により昭和57年3月に近畿2府4県を含む市町村等の地方公共団体174団体及び港湾管理者4団体の出資により設立された特殊法人です。

平成26年度の和歌山基地における産業廃棄物等の受入量は、125,103トンです。前年度に比べ一般廃棄物が14.0%減少しましたが、産業廃棄物が<sup>さい</sup>鉍滓で14.0%増加するなど8.0%の増加となり、受入量全体としては対前年度比99.7%とほぼ前年度と同じ量となりました。

また、この受入業務に関連して和歌山基地運行監視業務も併せて受託し、和歌山市の野崎地区と北島地区において毎月1回の搬入通行禁止路線に係る運行監視業務を実施しました。

<受入量の推移（平成8年度～平成26年度）>

年 度	受入量 (t)	年 度	受入量 (t)
平成 8 年度	260,680	平成18年度	218,061
平成 9 年度	430,159	平成19年度	212,026
平成10年度	339,069	平成20年度	234,906
平成11年度	232,853	平成21年度	157,026
平成12年度	165,566	平成22年度	193,145
平成13年度	172,745	平成23年度	139,592
平成14年度	115,227	平成24年度	116,394
平成15年度	123,943	平成25年度	125,438
平成16年度	134,560	平成26年度	125,103
平成17年度	178,690		

(平成26年度一日当たりの受入量：502t)

3 その他

本社は、和歌山県、和歌山市外12市町（旧22市町）及び新日鐵住金株式会社（旧住友金属工業株式会社）外9事業者からの出捐金1億円をもって昭和56年7月1日に財団法人和歌山環境保全公社として設立されました。

その後、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の関係法令の施行に伴い、平成25年3月18日付けで和歌山県知事の認可を得て、平成25年4月1日に一般財団法人となりました。また、その際には、公益目的支出計画の認可を受け、今後とも公益目的支出を継続していくものとしたところです。